

冷静になって自分や友だちを見つめる

<興奮と現実の間で>

サッカーワールドカップロシア大会、いよいよ準々決勝が始まります。日本は2度の監督交代があっ
て、厳しいと言われながらもベスト16に残り、世界の強豪国と立派に戦いました。真夜中の試合で日
本中が寝不足になったようです。聞くと、夕食後にいったん寝て、夜中の試合開始時に起きて応援した
という子どもたちもいたようです。相手の反則により得たフリーキックからやっと得点するという時代
から、最近の日本は自分たちでスペースに入り込んだり、セットプレーから得点したり、だんだんと力
をつけてきているようです。真夜中にもかかわらず、得点したときには盛り上がりました。残念ながら
ベルギーに敗れてしまいましたが、これまでの4試合での活躍から、たくさんの元気をもらいました。
しかしその興奮から冷めると、目の前にやらなくてはならないことがあることに気づき、興奮と現実を
行ったり来たりしていた2週間だったように思います。

日本代表キャプテンの長谷部誠選手(アイントラハト・フランクフルト所属)は、著書「心を整える〜
勝利をたぐり寄せるための56の習慣〜」(幻冬舎文庫)の中で「読書は自分の考えを進化させてくれる
」「(試合に)負けたあとなら乱れた気持ちを整えてくれる。勝ったあとには、浮ついた気持ちを抑制し
てくれる」と言っています。本を読むことによって本来の自分を取り戻すことができ、次の活動に落ち
着いて入っていくことができる状態になるのだと思います。きっと今回のワールドカップにも本を持参
し、本を読む中で気持ちを整えていたことと思います。本を読む時間、本に親しむ時間は、本校でも大
切にしている時間のひとつです。

<本に親しむ>

本校には、朝8時35分からの15分間と、清掃後13時50分からの
15分間に、読書やドリル等の時間が設けられています。曜日や時期によ
って変わるものの、1年を通して毎日の日課に位置づけられています。読
書や読み聞かせの活動には、

「読解力を育てる」「創造力を育てる」「字や表現の仕方を覚える」
などのメリットがあると言われ、それとともに、

「気持ちを落ち着けて本来の自分を取り戻すことができる」

とも言われます。また本を読むだけではなく「お話の森」「おはなし畑」
の皆さんが読み聞かせをしてくださっています。読み聞かせに夢中になる
子どもたち、自分の本を読むのに夢中になる子どもたち。休み時間の喧噪
から、本を通して気持ちを整え、集中力や学習意欲を高めて次の授業に向
かいます。また今週は読書週間で本を3冊借りられるとのことでした。子
どもたちの登下校時の荷物の中に、図書袋が必ずありますね。本に興味を
もっている様子がうかがえます。「これはね、図書館で借りたんだよ。
3冊借りられるんだ」こう話す子どもたちの笑顔、嬉しくなりました。



<自分のよさ、友だちのよさ>

冷静になってくると、今度は自分の振り返りができるようになります。今日一日の振り返り、授業の
振り返り、清掃の振り返り等様々ですが、振り返りは次の活動への足がかりとなり、必要不可欠のもの
だと思います。振り返る時に、自分のよくなかった所はすぐに見つかります。ところが自分のよかった
ところ、頑張ったところというのは、大人でも冷静に見ることが難しいものです。よく頑張ったと思っ
ていても、それ以上に周りの友だちが成果をあげているとなかなか言えないこともあります。人と比
るだけではなく、先週の自分、昨日の自分と比べてみるとどうでしょう。

「昨日の掃除はふざけてしまったけど、今日は一人になってしゃべらずにできたな」

「早く終わったから、他にやることがないか探して、窓ふきもやることができたぞ」

こうしたことも冷静になることによって気づくようになるのではないのでしょうか。

もう一つ子どもたちに期待したいのは、「周りの友だちのよさ」「友だちの頑張り」です。運動会の
時にも少し触れましたが、次のようなことがあります。

「今まで気づかなかったけれど、〇〇さんはいつも自分のことをあとまわしにしてクラス全体のこ
とを考えているな」

「△△君は授業で必ず発言している」

「◇◇さんは困っている友だちにいつもやさしく声をかけてくれる」

自分のことによく気づいていない友だちもいるわけで、友だちの頑張りやよさを伝え合うことによって
新たに気づき、友だちに認めてもらえたことから自信につながっていくことなのでしょう。

7月の生活目標は、「自分のがんばりや友だちのがんばりを見つけよう!」です。1学期も後半に入り
、登校日はあと13日となりました。まとめをする時期に入ってきています。この1学期で自分は何
のように成長したのか、2学期はどのように頑張っていくか、自分や友だち、自分のクラスについて考
えてみたいと思います。